

大阪総局 〒556-8661 大阪市浪速区湊町2の1の57 osaka-iken@sankei.co.jp

大阪

OSAKA

社会部大阪総局 ☎06(6633)9734
 FAX06(6633)9738
 豊中駐在 ☎06(6850)7320
 高槻駐在 ☎072(674)0770
 吹田駐在 ☎06(6386)6071
 東大阪駐在 ☎06(6747)3302
 枚方駐在 ☎072(841)5575
 富田林駐在 ☎0721(25)5735
 堺支局 ☎072(233)0406
 関西空港支局 ☎072(456)7220

広告のお問い合わせ
 ☎06(6636)1486



百貨店の防火体制チェック 大阪市消防局

年末に混雑する百貨店の防火体制を確認しようと、大阪市消防局は1日、同市北区の大丸梅田店を特別視察した一写真。市内の各消防署は今月中、飲食店や商業施設などを立ち入り調査するとともに、市民に防火を呼びかける。

藤井茂樹局長らはこの日、同店4階の婦人靴売り場や地下1階の食料品売り場などを巡回。避難通路や消防用設備を確認し、食料品売り場の調理場では清掃状況や火の取り扱いについて注意喚起した。

視察後、藤井局長は「大変良好だった。繁忙期も引き続き、防火管理をしっかりと続けていきたい」と訓示した。

近大・森本教授の

痛み学

入門講座

7



もりもと・まさひろ 平成元年、大阪医科大学大学院(麻酔科学専攻)修了。同大講師を経て、8年に近畿大学医学部麻酔科講師。22年から現職。医学博士。日本ペインクリニック学会理事。

「成人の73%が、1年間に何らかの頭痛を経験している」とする米国の調査結果がある。「頭痛」は日常的な痛みであり、わが国でも相当数の人がこの頭痛に悩まされていることは想像に難くない。肩こりがひどいと後頭部が痛くなるし、目の異常に起因する頭痛、ストレスによる頭痛だつてある。さらには二日酔いも然り。現代人にとって「頭痛の種」は尽きないのだ。しかし、頭痛に悩んでいる人が適切な治療を受けているかどうかについては、そうではないとするアンケート結果もある。多くの人が「何もせずじっと耐えている」「薬局で買った薬を服用している」と答えているようなのだ。

こうした「病院離れ」を引き起こしている要因の1つに、医療関係者の間ですら頭痛に関する認知度が低いことが挙げられる。たとえば、片頭痛でさえも「検査で異常がないのだから、

治療は必要ないでしょう」とする。日常生活に支障を来しているにも関わらず、である。だから「病院に行ってもどうせ同じだから」「になつてしまつたのだ。一方で、医師に頭痛が存

たかが頭痛、されど頭痛

頭痛



イラスト 森井真理

治療は必要ないでしょう」とする。日常生活に支障を来しているにも関わらず、である。だから「病院に行ってもどうせ同じだから」「になつてしまつたのだ。一方で、医師に頭痛が存

在する場所を質問されても、はつきりせずに「うん」と唸つた経験がある人も少なくないだろう。これは頭痛情報を伝えている神経が、皮膚などからの情報を伝える神経とは異なることに起因する。包丁で指先を傷つけた際や、熱湯を浴びた時には痛みが存在する場所を明確に指摘することができる。だが、内臓に異常が生じた場合、その場所は漠然としていることが多く、胃潰瘍ではみぞおちの辺り、胆石症では背中となる。頭痛も同様の理由で、痛みが存在する場所がはっきりしないのである。

医師にも理解してもらえない頭痛があると、人は不安になる。特に慢性的な頭痛では「脳腫瘍ができてくるのかも」「頭痛のためにボケるんじゃないか」などと、妄想をかきたててしまう。「こんなにも頭痛が続くのは、きっと悪い病気に違いない」と思い込んでしまう。しかし、慢性的に続く頭痛の多くは、脳そのものの障害によって起こるものではなく、生命を脅かす危険性はほとんどない。頭痛自体が痴呆の原因となることもない。過剰な不安を抱くことは禁物である。不安は頭痛を実際よりも強く増幅してしまつただけだ。不安からの解放のためには、自分を苦しめている頭痛がいったいどのタイプの頭痛であり、その原因は何であるのか、どんな治療を選択すれば良いのかを見極めておくことが肝要だ。心配であれば、神経内科や脳神経外科、ペインクリニックなどの専門医を一度受診してみてもどうだつた。

次回頭痛のタイプについて話してみたい。
 (近畿大学医学部麻酔科教授 森本昌宏)

第1、3土曜日に掲載
 します。